

## 『おうち、きれいにあげようや!』

育っている姿(自然との関わり・生命尊重、道徳性・規範意識の芽生え、自立心)



お水  
もってきたで。

隠れ家、できた。  
次は…

~~~~~ 育っている姿

虫や生き物が好きな子ども達。畑の近くでトカゲを見つけると、「お世話がしたい。」と飼育しています。

ある日、観察ケースの中に入れていた水がこぼれて土が濡れているのに気付いたA児とB児は、「おうち、きれいにあげようや!」と言い、トカゲの家をきれいにすることにしました。2人は話をすると、「よし、やろう!」と掃除が始まりました。A児がケースを洗っている間にB児はトカゲがどこかに行ってしまうように見たり、手に乗せたりしていましたが、A児が飼育ケースに土を入れ終わると、B児は飼育ケースに石や木を並べて入れて、隠れ家を作り始めました。B児が隠れ家を作り終わると、今度はA児が水を入れ、B児は落ち葉を探しケースの中に入れ、2人は掃除を終えた後、しばらくケースを見ていたA児とB児は、「あっ、葉っぱの布団の下で寝とる。」「気持ちいいのかな。」とトカゲの様子を見て、嬉しそうな表情を見せていました。

トカゲの飼育をする中で、「トカゲの飼育ケースをきれいにする」という同じ目的に向かって、友達と相談をしたり、役割分担をしたりしながら世話をしていたA児とB児の一場面でした。どのようにしたら目的を果たせるかを互いに考えたり、友達がしようとしていることがわかり、その間に自分は何をしたらいいかを考えたりする姿、きれいになった飼育ケースでのトカゲの様子を見て、トカゲの気持ちを想像したりする姿が見られていました。